

米 沢 市 長 様

事業団体名 万世ふるさとづくり委員会
 及び代表社名 委員長 梅 津 幸 保 ㊞

平成25年度 輝くわがまち創造事業補助金 に係る事業実績報告書

標記について、補助金等交付決定通知書指令財第75号事業実績報告書を下記のとおり提出いたします。

記

1 事業の成果概要

事業名	未来にピョン！！歴史と産業のまち万世
事業完了年月日	平成26年3月31日
概要	
実施内容	<p>(1) 看板等整備部 国道13号線刈安地内の万世大路記念碑公園にある5基の石碑「明治天皇御駐輦碑」「栗子神社の碑」「萬世大路改築記念碑」「明治百年記念碑」「明治大帝碑」に案内の標柱を建立した。 標柱は、地上高1.5m正面に石碑名を刻み、裏面には、その説明文を記載したプレートを埋め込んである。 万世大路が土木遺産に認定された銘板を公園の入口に台座をつくり山形県が設置して、その除幕式を開催する時、5基の案内標柱の除幕式と一緒に7月13日国、県、市、保存会など関係者約60名が参列して盛大に行われた。</p> <p>(2) HP・マップ制作部 万世地区内の自然・歴史・文化・産業等を広く内外に発信しようとホームページを立ち上げ広く皆さんに紹介するためPCを購入した。 初年度は地区内の自然や風景を春夏秋冬ごとに写真撮影をし、神社仏閣史跡等を1年かけて撮りHPマップ制作の素材となる資料を集め、今年度末にホームページを開設した。</p> <p>(3) 交流推進部 交流の場を整備するためコミュニティセンター前の広場を公園として活用することにした。そのため11月27日にオオヤマザクラとソメイヨシノを5本植樹した。来年以降桜の咲いた時期に地域の皆さんが集い、花見の宴や月見の宴が開かれる日を楽しみにしている。 また、地域交流を目的として万世コミュニティセンター前広場で朝市を開催するためテント2張りを購入し8月11日以降地区内に周知しながら毎月第2・4日曜日に7回開催してきた。自作の農作物、産地直送の新鮮な魚、お菓子、お花などの出店があり、初日は予想以上の賑わいでした。今後も継続していく予定です。</p>

	<p>(4) 展示・映像・特産部 地区内を紹介する展示・映像コーナーをコミュニティセンター内に設置すべく準備を進めている。展示としては、梓山獅子踊りの「獅子頭」のフィギュアを制作、映像ではコミュニティセンターにあるアルバムの中から懐かしい行事や、人物の様子等の写真を選択しDVDを制作するため機材の購入、万世を象徴するマスコットキャラクター募集で47点の応募があり優秀な作品を選定し投票により決定表彰した。</p>
<p>工夫した点・ 反省点</p>	<p>(1) 看板等整備部 案内標柱を建てるにあたり考慮したのは、雪対策と耐久性である。 標柱は、全長2mで0.5mを地中に埋めてコンクリートで固定し、雪に埋まらないように地上高は1.5mとし、標柱の材質は耐久性のあるベイマツで表面に防腐剤（ガードラック）を塗布し、説明文のプレート（27×15cm）は、腐食しにくいステンレス材で文字を刻んである。 冬期間は、標柱を取り外して保管することも考えたが予算的に無理なので固定することにした。 全体として20年以上大丈夫との業者からの保証である。</p> <p>(2) HP・マップ制作部 膨大な地区内の自然・歴史・文化・産業等を部員が現地に足を運び直接見分した点、県内外のマップ、パンフレットを参考に検討し業者のアドバイスを得ながら制作している。 現地に足を運び写真撮影したが天候に左右される場面もあったこと、部会の中でホームページ制作者が少なく、作業に負担がかかったこと。</p> <p>(3) 交流推進部 苗木を植樹するに当たり、冬期間の雪対策をどうするか、間隔をどの程度にするか等を業者に相談し適切なアドバイスを受けた。 朝市について、当初は予想以上の賑わいでしたが回数を重ねるごとに集客数が減少したためチラシ配布や当日朝の宣伝カーによる街宣等、PRに務めたが地域の皆さんに知っていただくには至らなかったと思われるので宣伝の方法を工夫する必要がある。お客様同志の交流の場「憩いのコーナー」を設け飲み物等を提供したが、もう少し多くの方が気兼ねなく利用されるよう設置場所、表示の仕方を考慮すべきだった。</p> <p>(4) 展示・映像・特産部 地域紹介のDVD制作に古くからの写真等はコミセンに残っているが動画関係は少ないため構想がまとまらず苦慮した。また、「獅子頭」のフィギュア制作も部員で進めているが専門家に依頼することも必要だ。 マスコットキャラクターの募集に47点もの応募があり地区民の関心の度合いが高かったものと言える、今後は最優秀賞の「万歳の松ちゃん」を万世のシンボルとして大いにPRし活用していきたい。</p>
	<p>(1) 看板等整備部 「万世大路記念碑公園」内の石碑は、これまで何なのか、分からず草の中にあっただが、案内標柱が建ってからは公園の隣にあるトイレで休憩した後、公園の中に入って見学する人が見られるようになった。 この後、万世小学校児童の校外学習や万世コミュニティセンター主催の栗子散策事業でも取り入れながら公園に来て多くの人に明治の偉業にふれ、万世の地域の宝として啓発広報活動に活用していきたい。</p>

<p>効果及び今後の展望</p>	<p>(2) HP・マップ制作部 部員が地域の文化、歴史、神社仏閣、祭り、行事、自然など現地に出向き写真撮影を行ったことで、新たな発見や歴史の重みなど感じ先人の遺徳を顕彰することが出来た。 コミュニティセンターだよりでふるさとづくり委員会の進捗状況を掲載していることで地域住民の関心も高まり楽しみにしている方も多い。ホームページを開設することで県内外にも発信し万世地区のイメージアップにもつながると思っています。地域の文化、歴史産業等の特徴に誇りをもち地域発展に推進したいと思います。</p> <p>(3) 交流推進部 桜を植樹したことにより、花見をしたり木陰で休憩できる環境をつくり、地区民が自然と集い交流することに期待出来る。次年度以降も休息する設備等を設置し環境を整えて行きたいと考えている。 朝市について、当初期待した集客数には至らず定着したとは言いがたいが、小さい規模であってもそれなりに地区住民の交流の場を作ることは出来た。運営することで見えてきた課題も多く、それを次年度に活かすことで、さらに多くの皆さんにご利用いただける朝市にしたい。最終目的は商売だけでなく交流が持てるような工夫を次年度の中で検討していきたい。</p> <p>(4) 展示・映像・特産部 展示・映像コーナーを設置するにあたりDVDの制作やフィギュアの制作をどんな感じにするのかを今後の課題として取り組んで行きたい。 マスコットキャラクターについては、子供からお年寄りまで幅広い年齢層から応募があり地区民の関心が高かったので、有効に活用して行きたい。 また、特産品として伝統野菜の「梓山大根」を奨励し、食材としての研究を推進普及して行きたい。</p>
------------------	---

2 収支の状況 別紙決算書のとおり

3 付された条件

※添付書類 その他補助事業の状況の分かる書類（記録写真等）、事業を周知するコミセンだより等